

# 20 沈埋工法(プラス工法)

水路

NETIS登録番号:SK-060010-VR(旧番号)  
建設技術審査証明:第1007号

## 沈埋工法(プラス工法)の特長

鋼矢板など山留めの代わりに掘削安定液(泥水)を満たしながら掘削、ボックスカルバートや管・人孔を吊り降ろし、周囲にセメントを混ぜて固める工法です。基礎を必要とせず、全周が均一な泥水固化物で防護されるので、水密性に優れます。不等沈下の心配がなく、地震時にも浮上や沈下がみられません。実用化されて30年、狭い場所や軟弱地盤から砂礫・玉石地盤まであらゆる所に対応できます。

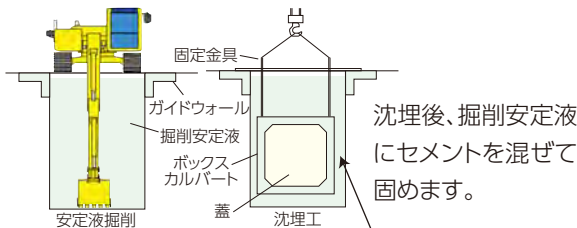
### 施工手順

#### 1 施工前



今回は開水路を暗渠にします。  
軟弱地盤で、この先家屋が近接しています。

#### 2 ガイドウォール築造・プラント設置、安定液掘削



#### 3 ボックスカルバート搬入



沈埋作業に必要な機材を取り付けます。

#### 4 ボックスカルバート沈埋、安定液固化



黄色いジャッキが先行ボックスカルバートを引き寄せます。掘削幅はボックスカルバート+30cmです。

#### 5 すきとり、ガイドウォール撤去



沈埋した上は歩道になり、車道と分離されます。



ボックスカルバート内部

施工状況(愛知県岡崎市)

ボックスカルバートのサイズ 内幅2600×内高1300×長さ1500(単位mm)

1 掘削安定液



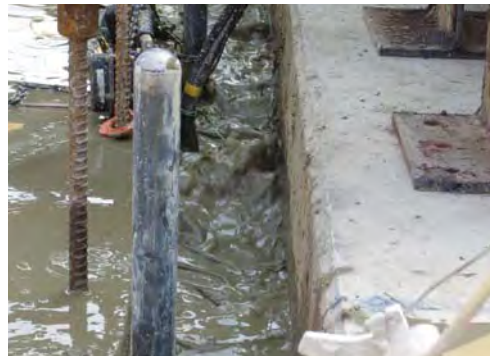
5 急硬剤投入



2 沈埋開始



6 安定液攪拌



3 沈埋完了



7 安定液固化まで吊り金具により保持



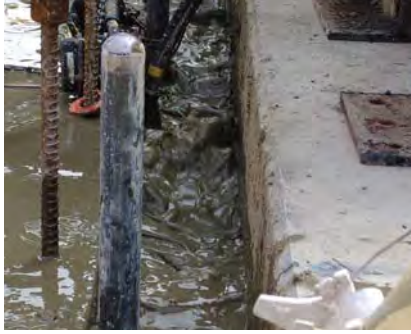
4 レベル調整



8 安定液固化後に吊り金具撤去



### 沈埋工法(プラス工法)施工例



沈埋工法(プラス工法)

プロダクト  
サマリー

インフォ  
メーション

水路

道路

ます

景観

電線類  
地中化製品

擁壁

補強土工

耐震性  
貯水槽

遊水池  
ブロック

テクスパン  
工法

スポーツ  
ウォール

その他製品

会社案内